

大森二中だより

令和7年10月1日 10月号
大森第二中学校 校長 橋田 康裕

令和7年度 大森二中 学校理念「思いやり」
教育スローガン いつも心に太陽を 笑顔満開の学校 —MAKE PLUS ONE—

「将来を担う子どもたちへ」

少し動くと汗ばむ陽気が続き、ハンカチで汗を拭いながら生活することが、9月でも日常の風景となりました。10月に入り、まだまだ、太陽の陽射しが眩しい日々が続くと思いますが、早朝や夕暮れ時に、初秋の涼しげな風を感じることができます。また、各地の紅葉情報を待ち遠しく思う頃となりました。東京都にも「明治神宮外苑」「新宿御苑」「上野国立科学博物館附属自然教育園」などの見所があります。週末のお休みを利用して、黄色や紅色の葉に癒やされる計画をたててみたいと思います。

さて、9月25日(木)から9月27日(土)にかけて、長野県菅平高原で1年生の移動教室を実施いたしました。5月に実施いたしました奈良京都方面での3年生の修学旅行と併せて、大きな2つの宿泊行事を無事終えることができました。学校行事は「周りと協力すること」「自分の役割を果たすこと」「仲間との絆を深めること」など机上で得た学習の成果を、自身の心と体で体験・実践し、さらに今後に生かしていくための自己課題を見つけていく大切な取組です。9月24日(水)から9月26日(金)に実施した2年生の職場体験も、子どもたちの成長に欠かすことができない大切な取組でした。すべての学年のこどもたちの今後の成長がとても楽しみです。

移動教室2日目、夕食後に学年レクリエーションの時間がありました。クラスごとのダンスを楽しませてもらいました。「いつ練習をしていたのかな」と思わせるほどの表現(ダンス)で、こどもたちの成果とともに、学年の先生方とこどもたちとの強い絆や温かな信頼関係が感じ取れて、胸が熱くなりました。

あるクラスのダンスのBGMで流れていた曲が、サカナクションの「新宝島」。この曲のタイトルは、どうやら1947年に発表された手塚治虫さんの漫画「新宝島」に由来されているようです。さらに、サカナクションのボーカル山口一郎さんが、2人の高校生漫画家の苦難と葛藤を描いた映画「バクマン。」に感銘を受け、ご自身の「音楽を作る葛藤」と映画の主人公である2人の高校生の「漫画を作る葛藤」に共鳴をされ、この曲を作られたようです。

次と	その次と	その次と	線を引続けた	次の	目的地を	目的地を描くんだ宝島
このまま君を連れて行くと	丁寧	丁寧	丁寧に描くと			
揺れたり震えたりした線で	丁寧	丁寧	丁寧に描くと	決めていたよ		
次も	その次も	その次も	まだ目的地じゃない	夢の	景色を	景色を探すんだ宝島
このまま君を連れて行くと	丁寧	丁寧	丁寧に歌うと			
揺れたり震えたりしたって	丁寧	丁寧	丁寧に歌うと	決めてたけど		
このまま君を連れて行くと	丁寧	丁寧	丁寧に描くと			
揺れたり震えたりしたって	丁寧	丁寧	丁寧に歌うよ			
それでも君を連れて行くよ						
揺れたり震えたりした線で	丁寧	丁寧	丁寧に描くよ	君の歌を		

＜サカナクション「新宝島」＞

漫画家、アーティストは共に、終わりのない「次」がずっと続き、誰かの為の「理想の目的地や夢の景色」に向かって「線」と「歌」で表現し続ける。それぞれができることは、悩みや苦しみはあるけど、一つ一つを「丁寧に」行っていく。学校は、将来を担い、笑顔いっぱいの子どもたちを育てるために、一つ一つの授業、行事、取組を丁寧に行い、一人一人のこどもたちを大切にしていきます。時に、一人一人のこどもたちへの声かけや指導に、「どうすれば、どうしたら、何をすれば」と揺れたり震えたりすることがありますが、それでも君(こどもたち)を、それぞれ歩む将来(宝島)に連れていきます。本校の教職員を、引き続き、応援していただけると助かります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

大田区立大森第二中学校

[illegible]